

地方創生で活気のある町に 議会だより

# かつら

No.83

2019.4.30

いくぞっ!

病院基金 3億 5000万円 — ②

予算から消えた「町民体育祭」 — ④

効率化するか!! 町長肝いり政策 — ⑥

特集《議員の目》

増え続ける児童虐待 — ⑦

一般質問

まちづくりを問う — ⑩

裏表紙特集

新鮮力! 協力隊が走る

# 令和4年開院めざす 勝浦病院

3月ひな会議は、3月6日から20日まで開催し、30年度補正予算をはじめ、31年度一般会計予算、特別会計、条例改正等25議案を審議し可決しました。また、一般質問に議員9人が登壇し町政に切り込みました。

## 町道棚野八石線 整備工事

病院改築に伴い整備する新道

新規事業

8000万円

## 星谷橋建設基金

30年度から  
6年間積み立てる

6000万円

## 病院改築基金

9000万円

総額3億5000万円  
積み立て完了する

## 恐竜化石PR

化石レプリカ作成費など

8864万円

## 防犯灯設置

住民の安全を守るため  
新たに防犯灯を設置

新規事業

2880万円

## 消防車 買い換え

第2、4分団が新しくなり  
全ての分団の車両更新が完了

1650万円

## 宿日直業務委託

役場の宿日直業務を民間委託し  
職員の負担軽減

新規事業

2780万円

## 子育て支援

保育園副食費助成  
勝浦ひな手当て（保育士支援）  
プレミアム付き商品券 など

新規事業

2815万円

31年度一般会計予算  
総額 38億2800万円

新病院のイメージ図です

（実施設計で設計内容に変更がある場合があります。）

# どないなっとな!! 予算から消えた「町民体育祭」



## まちづくり

体育祭、アンケート結果を見て実施するとなれば予算化

——町民体育祭の実施について、アンケートの結果を見てからと言っていたが、どうなったのか。(美馬)

**笹山教育委員会事務局長**  
アンケートの回収率は約25%。結果は4月中旬に公表する。

——アンケートの結果が出ていないのに予算がない。なぜか。(国清)

**笹山教育委員会事務局長**  
結果がはつきりしていないので、予算計上しなかった。実施するとなれば予算化する。

阿南方面の通学タクシー  
11人利用

——新年度の利用者の内訳は。(松田)

**笹山教育委員会事務局長**  
新たに9人が阿南方面に進学し、内5人が利用を希望しており、上級生と合わせて11人となる予定だ。



横瀬西からスタート

地籍調査後の課税  
不公平にならないようにする

——地籍調査で、地目変更された土地の課税は。(大西)

**久木税務課長**  
税法などの評価基準により、不公平にならないよう課税したい。

投票所統合の周知は  
防災無線などで行う

——投票所が統合されるが、周知不足である。問題はないのか。(美馬)

**中瀬住民課長**  
混乱しないよう広報、防災無線等で周知を徹底する。

役場内ネットワークの強化が必要

——保守業務費が1100万円と高いが、その内容は。(仙才)

**山田企画総務課長**  
役場内ネットワークの保守と強靱化保守料等が含まれている。

宿日直の業務委託により  
夜間の書類交付が一部できなくなる

——職員の宿日直が廃止されるが、業務に支障はないのか。(美馬)

**山田企画総務課長**  
夜間の業務は完全委託するので「埋火葬許可証」などの交付はできない。昼間は委託業者と職員名が従事するので、業務に支障はない。

## 観光・にぎわい

30年度補正  
インバウンド誘致  
積極的なPRを継続し結果を出す

——インバウンド協議会への補助金140万円のうち、半分ほどが台湾、香港へのPR旅費に当てられている。費用対効果を含め適正な支出と考えているか。(大西)

**藪下副町長**  
同様の事業を実施している自治体でも、旅費や宿泊費を負担している。

交流人口増加に向け、香港・徳島間の季節定期便就航に合わせ、積極的なPR活動が必要と考え

た。県や関連団体と連携し、勝浦の魅力をSNSでの発信等をつけることで結果を出していきたい。

軌道に乗ったインバウンド事業  
新年度の予算は100万円

——香港や台湾からの旅行者が増えているが、予算はどうなっているのか。(国清)

**海川産業交流課長**  
100万円を予算化している。成果が出ているので今後、補正予算で対応したい。

インバウンドとは  
外国人が日本を訪れること。



台湾から突然ビッグひな祭りに! 你好!

恐竜化石のレプリカ  
図書館2階に常設展示

——恐竜化石のレプリカを作成するようだが、こういった形で町民に公開するのか。(大西)

**笹山教育委員会事務局長**  
文化祭等、様々な機会に公開し、図書館2階の郷土資料室での常設展示については、今後検討したい。

## 医療・福祉

勝浦病院改築基金の積み立て  
5億円から3.5億円に減額

——勝浦病院改築基金5億円積み立ての予定だったが、どうなったのか。(大西)

**石木地方創生室長**  
事業費に充てる基金は、3億5000万円で見通しがついた。



Pick up!

# 効率化するか!! 野上町長 肝いり政策



機構改革は防災対策の強化と  
行政サービスの充実が目的

——組織の再編により、「防災」  
が入った課が設置される。また、「交  
流」も「企画交流課」に引き継が  
れるが、機構改革への町長の考えは。  
(国清)



山田徹氏 (58歳・中山)  
副町長に就任

# 機構改革

野上町長の肝いりとも言われる組織改革がついに執行された。新設されたのは「総務防災課」「農業振興課」「企画交流課」「上下水道課」。  
南海トラフ大地震も想定しての防災体制強化や農業・観光に特化した課を作った野上町長の想いとは。

野上町長

「総務防災課」は消防の常備化  
や災害対策を推進するため、防災  
に関しての情報収集と調査研究に  
集中できる業務内容に整理した。

また、「企画交流課」は人口減少  
対策とともに、交流人口増加に向  
けた事業を効果的に実施できる体  
制とした。

組織のコンパクト化で  
職員間の意思疎通を円滑に

——課の再編により期待される効  
果は何か。(美馬)

山田企画総務課長

行政サービスのワンストップ化や組  
織間の連携強化がされる。

また、組織をコンパクトにしたた  
め、職員間のコミュニケーションが図  
られやすくなる。

## 4年ぶり女性管理職



(左から) 福祉課長 木村美枝氏、税務課長 藤井小百合氏、  
会計管理者兼出納室長 長友清美氏



新たなポスト「政策監」  
大久保彰氏 (県より出向)

一人ひとりに寄り添った住民対応  
を心がけます。(木村)  
課員一丸となって税込確保に努め  
ます。(藤井)  
初心を思い出し頑張ります。(長  
友)



新教育委員の任命に同意  
細谷ひとみ氏 (坂本)



# 増え続ける児童虐待 子どもたちのセーフティネットは？



3月22日、議会議員と町長、副町長、担当課職員など総勢16名が役場の大会議室に集まり、昨今全国で話題となっている児童虐待についての知識を深めた。

テーマは「児童虐待の現状と課題」。年々増え続ける児童虐待の現状を理解し、町議会として何ができるのか、その糸口を探す。



講師 石炉久美子氏

平成29年度の全国の児童相談所での児童虐待相談対応件数は、約13万4000件で、過去最多の件数となった。虐待相談内容の割合は、心理的虐待(54・0%)、身体的虐待(24・8%)、育児放棄など(20・0%)となっており、半数以上が心理的虐待の相談だ。

## 年々増加の相談対応件数 過去最多の約13万4000件

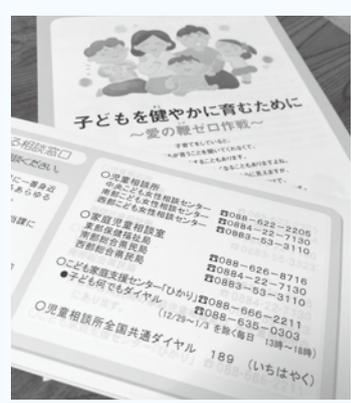
今後、町として児童虐待問題に対し、どのように取り組むべきか学んだ。

今回、講師として招いたのは徳島県民環境部 こども未来応援室の石炉久美子氏。  
石炉氏を招いた目的は、全国で話題となっている「児童虐待」の実態と徳島県の取り組みなどについての知識・理解を深めることだ。

虐待の未然防止には  
相談所と自治体の連携が必須

厳しい状況の中、児童相談所への相談がきっかけで最悪の事態を防げた事例はあるものの、相談件数に対する人員不足も懸念されている。

石炉氏は、「相談所と自治体が連携してセーフティネットを張っていく必要がある」と言う。その理由は、行政サービスを受けていない家庭の場合、相談所での児童の安全確認が難しいためである。物理的にも心理的にも児童に近い立場にある自治体が、その地域の実情を把握



全国共通ダイヤルは189 (いちばやく)

徳島県の数値は、相談件数634件。その内訳は心理的虐待(44・0%)、身体的虐待(33・7%)、育児放棄など(20・0%)で、全国に比べ、身体的虐待の割合が多い。

研修データ  
**徳島県 県民環境部**  
**次世代育成・青少年課 こども未来応援室**

徳島県の児童虐待防止や母子父子寡婦福祉の充実、子どもの貧困対策の推進などを目的とする担当室。

<http://urx.space/LkJv>



児童に寄り添った対応を

28年度の児童福祉改正法などにより、児童の安全対策は少しずつ強化されてきている。しかし、まだまだ直面する課題は山積しており、町としてどう対処していくか検討する余地がある。

議会としても、町と手を取り合い、児童に寄り添えるよう最善を尽くしていきたい。

し、相談しやすい状況を作ること  
児童虐待を未然に防ぐことができ  
る。

# 町民の声

日ごろ、皆さまからいただいている声を、議員が町民代表として執行部へ投げかけました。



**A**  
新しい料金体系の検討を申し入れている。

**Q**  
インターネットを利用しない人は、再契約に不安を持つのではないか。今後料金はどうなるのか。

**A**  
現在の契約はセット料金のため、インターネットだけ契約を解約することはできない。

**Q**  
インターネットを利用していない家庭は、契約を解約するだけでいいのではないか。

**A**  
現在の業者（NTTビジネスソリューションズ）から、「これ以上の設備投資が難しいためインターネット接続事業から撤退する」との申し出があった。

**Q**  
なぜインターネット業者を変えるのか



仙才議員



## インターネットの業者、どうして変更するの？

**A**  
未然防止が大事である。必要時は民生委員や要保護児童対策地域協議会に相談する。県に「阿波っ子スクールサポートチーム」があり、一括に連絡できる体制がある。

**Q**  
学校での情報が漏れ、大人の裏切りでこのような事件までに発展してしまっただ。町は大丈夫か。

**A**  
自分の学校にSOSを発信してたり、つらい立場の児童や生徒がいなかったら確認しよう。校長会で話し合ったところだ。  
対応は複数で行うなど、学校や委員会では情報の共有、福祉課と連携し児童相談所など関係機関に迅速に相談する。

**Q**  
大阪の小4女児死亡事件を受け、子供たちを守るために再点検し、個人の判断で迷うことが無いように連絡体制を整え、子供たちのSOSを受けとめてほしい。

美馬議員



## 子供たちのSOSを受け止めて



# ふっちゃんはどうなの？議会広報

議会広報モニターアンケートの意見・感想です。さらに伝わりやすい紙面づくりや議会活動ができるように活かしていきます。

勝浦病院改修など  
**皆が興味のあるもの  
を取り上げてほしい。**

他の地区の人たちと  
交流できる機会が欲しい。

民話やほこら・  
石仏などに興味  
がある。

防犯灯予算が  
ついてよかった。

一般質問ページに  
QRコードがついたので  
動画配信をみるようになった。

紙面が4段になり  
読みやすくなった。

職員の資質向上について、  
接遇が大事。

旧・果樹研究所の  
活用に期待している。

協力隊の記事は  
良かった。

「子ども議会」の記事は良かった。  
**初めて議会へ行った。**

**表紙は  
良くなった。**

稼	山	井	長	相	出	徳	前	大	前
勢	野	上	通	原	葉	山	田	久	田
郁	浩	垂	悦	愛	義	洋	節	保	正
子	史	由	子	子	和	子	子	巖	仁
坂	与	横	中	棚	生	星	中	今	沼
本	川	瀬	山	野	名	谷	角	山	江

(敬称略)

各地域からご協力いただいている  
議会広報モニターですが、今年度は  
次の皆様にご協力いただきます。

令和元年度の  
広報モニター決定！









# 一般質問

## 町政の“ここ”が聞きたい！

一般質問とは、議員個人が町長などの執行部に対して執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを確認する場。3月・7月・11月に行っている。

ま ち づ く り	令和5年に着工、星谷橋架け替え	国 清	P.11
	進まない新浜勝浦線改良工事、国費事業に採択	国 清	P.11
	「水道経営戦略」料金値上げ抑制を	仙 才	P.13
	インターネットの利用率向上策は	仙 才	P.13
	安全・安心、町道棚野立川線	麻 植	P.14
	残土 30 万㎡の搬入中止を、今山の鉱山	井 出	P.15
	国保税の納付困難者の救済制度の創設を	井 出	P.15
	若い女性にサポートを	美 馬	P.12
農 業 振 興	増える耕作放棄地、歯止め対策を	松 下	P.16
	みかんブランド化に向けた取り組みは	森 本	P.17
観 光	道の駅周辺整備、多目的広場や駐車場の整備を	大 西	P.19
医 療 福 祉	勝浦病院建て替え、気になるソフト面	美 馬	P.12
	病院運営と医師確保は	森 本	P.17
防 災	防災減災での問題点は	松 下	P.16
	星谷橋架け替え前に洪水対策を	麻 植	P.14
	勝浦川堆積土砂、1 万㎡浚渫	大 西	P.19
そ の 他	客観視した勝浦町とは、藪下副町長最後の答弁	松 田	P.18
	積極的に情報発信を	松 田	P.18

過去に発行した勝浦町議会広報や一般質問の全編映像は、公式ウェブサイトから閲覧できます。そちらも合わせてご覧ください。

<http://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/>



# 進まない道路工事業 進展やいかに

**新浜勝浦線改良工事**  
国の事業として進展あり

—— 県道新浜勝浦線改良工事「星谷工区」の現状は。

**松本建設課長**

改良区間600メートルで、29年度工事を終えたところから西側へ40メートルを発注し、5月下旬完了予定。

—— 2年間で約50mしか進まないが、課題はなんなのか。



「はようして」新浜勝浦線

**松本建設課長**

県単事業でなかなか予算が付かなかつたが、新年度から「緊急地方法道整備事業」として国費事業に採択される。国費で4000万円、県費で1500万と聞いており、進捗が早くなる。

**令和5年に着工**

**星谷橋架け替え**

—— 星谷橋架け替えの工事費と、基金積立の金額と期間は。

また、工事の着工時期と完成見通しはいつになるのか。

**松本建設課長**

建設工事費を約18億円と見込み、基金として30年度から6000万円6年間積み立て、3億6000万円とする。

着工時期は、令和3年に基本計画を策定し、早ければ5年から着工。完成は10年ころとなる。

—— 星谷橋は、町の最後の「潜水橋」で、大雨で増水時は危険で、再三消防が出動している。早期の着工と完成を強く要望する。

**野上町長**

現状は十分に承知している。早期完成に向けて取り組む。

**農地取得面積30アールに緩和を**

—— 勝浦町は農地取得の下限面積が50アールとなっているが、近隣町村ではどうなっているのか。

**産業交流課長**

上勝町が10アール。神山町が30アール。佐那河内が40アールである。

—— 新規就農者の用地取得や、耕作放棄地をなくするためにも、下限面積の見直しは必要だ。

**野上町長**

30アールへの変更を、農業委員会に提言する。

## その他の質問

- 防災基金を
- 交通弱者対策
- インバウンド対策

国清 一治 議員

# 建て替える勝浦病院 気になるソフト面

地域連携室に専任を置き  
レベルアップへ

——勝浦病院は新しくなるが、  
中身の充実が重要である。地域連  
携室に期待する効果は何か。

笠木病院事務局長

専任を置き、入院や転院、退院  
の調整。介護、福祉など地域や住  
民からの直接の相談窓口として効果  
を期待している。

また、看護師の教育や接遇も含  
め、レベルアップにつなげたい。

地域連携室とは

勝浦病院と他院や他施設、地域  
をつなげ、連携を深める部署。

—— 棚野区民の総意である、避  
難所として地元は利用できるのか。  
石木地方創生推進室長

区から「新病院に避難所の機能



新道で結ぶ勝浦病院（イメージ図）

を」と要望書をもたらしている。災害  
時に一時的な避難施設になるよう事  
業を進めている。

—— 病院改築や関連道路の進捗  
状況と今後の予定は。

石木地方創生推進室長

令和4年3月開院予定をめざし  
事業に取り組んでいる。国の承認  
後、地権者に用地取得の協力をお  
願いする。

松本建設課長

町道新設工事は、詳細設計を作  
成し、町道に隣接する耕作地への進  
入路や、用水の取水など所有者と  
調整し、早く用地取得できるよう  
進めていく。

また、今年には耕作を休んでもら  
うので補償する。

若い女性にサポートを

——若い女性（20歳から40歳）  
の数は、総人口5300人中  
362人と減っている。サポートで  
きる環境整備が必要だ。生の声を  
聞くべき。

野上町長

地域やPTAなどで、交流でき  
る機会をつくり、出向いて直接意見

を聞き政策に活かしたい。

——「とくしま在宅育児応援ク  
ーポン券」事業は、県では一時預かり  
やファミリーサポート、  
産後ケアなど利用で  
きるが、町ではどのよう  
に利用できるのか。

岡本福祉課長

使えるサービスが少な  
いが、予防接種等に使  
える。

その他の質問

- PR 不足。ホームページや SNS で情報発信を

美馬 友子 議員

## 「水道経営戦略」 料金値上げ抑制を

設備更新に  
毎年8800万円必要

「経営戦略」では、施設更新費が高額なため、水道料金を少しずつ値上げして、最終的に川北水道レベル（基本料金1800円）まで引き上げるとしている。

技術革新によりコストを下げ、水道料金の値上げを抑えるべきではないか。

松本建設課長

施設更新を60年サイクルとすると、毎年8800万円必要となるので抑制は難しい。

—— 坂本水道の施設改良工事をする、水道料金はどの程度上がるのか。

松本建設課長

与川内地区の浄水施設更新（事業費約5000万円）の例では、

年間190万円の値上げが必要となる。これを年間の水道使用量2万8000m<sup>3</sup>で割ると1m<sup>3</sup>あたり70円の値上げとなる。

給水人口・設備・現場条件、事業費が同等の坂本地区では、基本料金（10m<sup>3</sup>）1000円が1700円に、超過料金1m<sup>3</sup>20円が90円となる。

—— 今後、各地区の水道管理はどうなるのか。

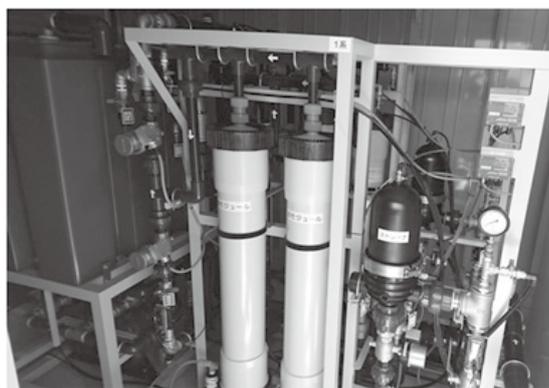
松本建設課長

現在、一部を除き各地区の組合に管理をお願いしているが、今後は、町の直接管理に移行していく。

インターネットの利用率向上策は

—— 昨年のアンケート調査では、インターネットの利用者が49%だった。目標利用率は。

また、利用率向上策や使わない



与川内浄水場 膜ろ過設備

場合の料金は。

山田企画総務課長

高齢者の利便性を上げるような使い方を提案し、利用率を70%くらいまで上げたい。

料金については、業者にサービス体系の見直しを求めている。

### その他の質問

- 旧果樹研究所の活用策
- 危険空き家対策
- 「かつうらみらい創生事業」の展開

仙才守 議員

# 星谷橋架け替え前に 洪水対策を

中角金比羅堤防の補強を県に要望

——星谷潜水橋は洪水時、下流堤防の崩壊を防ぐため水流を抑えることが出来ると考える。星谷橋架け替えにより潜水橋が撤去されるが、下流堤防への影響は。

松本建設課長

堤防に当たる水の勢いが増す可能性はある。

——現状での金比羅堤防の危険性をどのように考えているか。

松本建設課長

金比羅堤防付近は護岸工事で補強をしているが、堤防の裏側については豪雨時に、瀦水している箇所があると認識している。

——災害が起きてからでは遅い。強化は必要であり、星谷橋架け替え前に対策すべきと考えるが。

松本建設課長

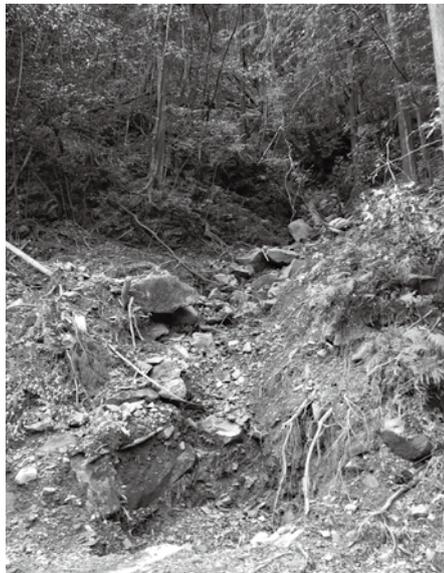
県に対して金比羅堤防付近の補強工事を要望している。

安心安全、町道棚野立川線

——恐竜の化石発見で日本中に有名になった勝浦町。これまでも、これからも観光振興で盛り上がり、観光客の通行量が増えると想定される。町道棚野立川線は町民にとって重要な生活道である。危険箇所の把握はしているのか。



危険な金比羅堤防（中角）



崩落で危険な棚野立川線

松本建設課長  
崩落が起こりやすく、安全が十分でない箇所があり、狭あいな町道である。

——今後、具体的にどのような対応するのか。

松本建設課長

地元の意見を聞きながら、計画的に改良工事を進めていく。



麻植 秀樹 議員

# 残土約30万<sup>3</sup>mの 搬入中止を！平石山鉦山

国の許可あり  
町民の安全性は確保する

——今山区の鉦山への建設残土搬入計画の経過を、町は把握しているのか。

松本建設課長

27年9月、事業計画への意見を町に求められたが、すでに経済産業省の許可が下りていることもあり、安全に取り組むように答申をした。

——地元や議会への説明がなぜなかったのか。今山区は搬入に反対している。

野上町長

すでに国から許可が下りており、安全が確保されていればとの認識であった。

——過去の議会で、原田議員が「崩落の危険がある」と質問し、経済産業省の現地調査では、「小規模な崩落は、見受けられるが、川

をせき止めるような危険はない」との答弁であった。

崩落防止のための約30万<sup>3</sup>mの土砂の搬入は、断じて認められない。まして10年に1度の豪雨を想定した排水計画では不安だ。最近の災害は50年、100年に1度の想定が必要だ。町もしっかりとした対応を。

野上町長

町民の安全は、確保していく。

## 国保税の納付困難者の救済制度の創設を

——安倍政権の6年間で3兆8850億円も、社会保障費が削減された。さらに消費税増税で低所得者は一層厳しい生活となっているが、滞納者は増えていないのか。

久木税務課長

26年の13件から29年に35件と増加している。



平石山鉦山の上空写真

——30年度に国保税を7・5%引き下げて3000万円の赤字である。

一律に負担軽減を図るのではなく、納付困難者の救済制度を設けて、収納率を上げたらメリットがあるのではないか。

久木税務課長

収納率が上がると、保険者努力支援制度で補助金の上乗せがある。

野上町長

税の公平性に配慮しつつ、救済制度創設の研究をしていく。

井出 美智子 議員

# 増える耕作放棄地 歯止め対策を

放棄地の復旧対策を  
前向きに検討する

えるよう要望する。

—— 農地は農業の基盤である。  
耕作放棄地の復旧復元を目的と  
し、農地を取得するに必要な経費  
への助成をして歯止めをかけるべき  
だ。

野上町長

農業振興のため、耕作放棄に歯  
止めをかける政策の制度化について  
前向きに検討する。

—— 旧果樹研究所施設の今後の  
利活用は。

藪下副町長

3月6日に「徳島かんきつアカデ  
ミー」が開校し講義も始まり、図  
書スペースや休憩室、滞在施設の整  
備が進められる。

今後、サテライトオフィス誘致や  
6次産業化に向けた施設として使

—— 放棄地となっている旧園芸高  
校跡地の利用計画について町の構想  
はあるのか。

野上町長

アカデミー等で学んだ人が利用で  
きるモデル的園地も考えられる。  
新年度に沼江、石原地区と意見交  
換をしたい。

防災減災での問題点は

—— 火災発生時の出勤要件は。



始まった「徳島かんきつアカデミー」

山田企画総務課長

消火活動には4名程度の確保が  
必要だが、現場で4名の確保が見  
込める場合、分団の判断で出勤す  
る。

—— 私服で駆け付けた場合の事  
故は公務として対処できるか。

山田企画総務課長

消火現場での活動が確認できれ  
ば、公務災害になる。

—— 町内での消火栓、防火水槽  
の設置は十分なのか。

山田企画総務課長

消火活動からの距離、住宅の密  
集度を勘案しながら消防水利を設  
けていく。

—— 大規模災害にボランティアと

して派遣する場合、旅費助成はあ  
るのか。

山田企画総務課長

町がボランティアを  
募って派遣を行う場合、  
負担することはある。

—— 復旧復興への第一

歩は、土砂ガレキの撤  
去である。土捨て場等  
の確保はできているの  
か。

野上町長

沼江バイパス完成後  
の防災広場で一時保管  
することがある。

## その他の質問

- 危険家屋撤去による税の軽減を
- 沼江バイパスの進捗

松下一一 議員

# みかんブランド化に 向けた取り組みは

JAとの連携で  
品質管理とブランド化へ

—— よってネ市、あいさい広場に、  
どのような支援がされてきたのか。

海川産業交流課長

よってネ市改築に町補助金を  
出し、あいさい広場へは県の事業や計  
画の認定申請を支援している。

—— その後のかわりはどうなっ  
ているのか。

海川産業交流課長

JAとは毎月一回農業推進班にお  
いて協議し、よってネ市の運営やJ  
A産直市の状況など協議している。

—— ブランド化に向けて、みかん  
段ボール箱の取り組み状況は。

海川産業交流課長

JAと出荷組合を統合したデザイ  
ンで、JA・各出荷組合名や屋号が  
入れられている。



にぎわうあいさい広場

—— 品質管理はどうなっているの  
か。

海川産業交流課長

生産販売促進協議会で品質基準  
等を研究し、JAや県で組織する  
推進班や運営協議会で検討してい  
る。

病院運営と医師の確保は

—— 運営状況はどうなのか。

笠木病院局長

29年度は入院目標414人に対  
し394人、外来1100人に対  
し88・5人、病床利用率69%に對  
し59%であり、厳しい状況が続いて  
いる。

—— 医師確保はできるのか。

石木地方創生推進室長

現在4人の医師がいるが、1人は  
31年、もう1人は32年で退職予定  
である。

現在、県関係機関や徳島大学病  
院への依頼、医学部学生との交流、  
勝浦出身の医師の情報収集にも努  
めている。

—— 病院建設は、運営状況に応

じて変えられる建物にできないか。

石木地方創生推進室長

勝浦郡唯一の入院機能を持つ病院  
で、地域医療の砦である。改築事  
業は計画通り進める。

## その他の質問

- 食の安全について
- 一人暮らしの安全
- 正木ダム28項目の約束
- 消費税10%対策

森本 守 議員

# 客観視した勝浦町とは 藪下副町長、最後の答弁

小回りの利く自治体として  
スピード感を持つて対応

——副町長としての3年間、意識してきた部分と今後の勝浦町はどうあるべきかを聞きたい。

## 藪下副町長

人材育成をしながら業務を進める、マネジメントしていくことを3年間心掛けてきた。社会情勢の

化に対応できる、守りの姿勢だけでなく、スピード感を持つて対応することが必要だ。

野上町長就任以来、町長室のドアを開放し、一分で話を通すこともできる。こういった小さな自治体のメリットを活かし、「究極のサービス業」である行政職員が住民ニーズを的確に捉え対応すべきだ。

私自身も初心に戻り、住民の行政であり続けるために変えるべきものは変えていく姿勢を持ち続けたい。

## 積極的に情報発信を

——町長就任から一年が過ぎたが、政治信条の「町民との対話」を具体的にどのように進めてきたか。

## 野上町長

町長就任後、2地区から要望があり対話集会を開催した。また、こちらからテーマを持って3地区に出

向き、団体等との意見交換を1回実施した。もう少し自らが向く必要があると感じているので、31年度については意見交換を積極的に取り組みたい。

——町のホームページとともに、病院と企画総務課ではツイッターでの情報発信に取り組んでいる。町長自身が対話集会等でコミュニケーションを図るとともに、SNS等を用いて発信する事でさらに相互理解が進むと考えるが。

## 野上町長

「隗<sup>か</sup>より始めよ」とあるように、今年度の目標として何かのツールを用いて、自らが発信していきたい。



ドアが開きっぱなしの町長室

## その他の質問

- 職員の人材育成の基本方針は

松田 貴志 議員

# 勝浦川堆積土砂 1万<sup>m<sup>3</sup></sup>浚渫

勝浦川整備により  
生名谷川への逆流改善へ

—— 県の2月議会で勝浦川全体の整備計画が示され、約2億円が予算化されている。本町に關係する計画内容は。

**松本建設課長**

星谷橋下流部と今山橋上下流部や生名谷川、本沼江谷川などの堆積土砂の浚渫約1万<sup>m<sup>3</sup></sup>が予定されており、事業費は全体で3700万円である。

—— 星谷橋下流部の浚渫で生名谷川のバックウォーター現象は解消されるのか。

**松本建設課長**

浚渫で効果はあると考えている。

—— 背割り堤の建設を提案しているが実現のめどは。

**藪下副町長**

県に背割り堤の効果を示し、早期実現に向けて訴えていく。

**道の駅周辺整備**

**多目的広場や駐車場の整備を**

—— 昨年のひな会議で副町長は道の駅周辺整備計画について協議、検討を行っていきたいと答えている。昨年はインバウンドで台湾から大勢が来町し、今年も香港からのツアー客も多く来ており、交流人口は増えている。対応を急ぐべきだ。

**藪下副町長**

多目的広場や駐車場の整備などを中心に「にぎわいや交流の拠点」と位置づけ、早急に協議の場を設け議論を進めたい。

**鶴林寺線 県道供用開始を**

—— 県道と食勝浦線は生名センター敷地が共有地で分筆が出来ず、



道の駅周辺 上空写真

と  
考  
え  
て  
い  
る。

長い間町道のままになっていたが、今年行われた地籍調査で問題は解決の見通しだ。今後、県道として供用開始をめざすべきだ。

**松本建設課長**

地籍調査の成果が法務局に登録されたら、県との協議が再開できる

## その他の質問

- 県道改良について
- ふるさと納税について
- 勝浦病院の経営状況について

大西 一司 議員

# 新鮮力!

## 協力隊が走る

### まずは自己紹介

徳島生まれ徳島育ちの生粋の徳島人です。小さいころからディズニーが大好きです。勝浦町に来る前はきのご工場やイベント会社で働いていました。

### なんでこの町へ

周りの友達が都会に出ていく中で都会への憧れも強かったですが、やっぱり徳島が大好きで、田舎ならではの温かさを感じられる仕事を探していた時に、協力隊という制度を見つけて応募しました。



道の駅ひなの里かつうら

宮本玲香 さん

徳島県出身

第4期 地域おこし協力隊  
勝浦在住3年目



### どんなことしょんで

普段は「道の駅 ひなの里かつうら」で、勝浦町の観光案内や特産品のみかんを使った商品の販売を行っています。物産販売の手伝いとして、県内外のイベントに行くこともあります。

### ゆめは大きく

一人暮らしの経験がない私を温かく迎えてくれて、両親のように気遣ってくれた勝浦の方々に、何か恩返しができたらいいなと思っています。

### 「地域おこし協力隊」とは

人口減少の著しい地域において、地域の維持・強化を図るため、都市から人材を確保し、更に定住へと繋げる制度で、期間は3年です。

## 編集後記

桜やチューリップなどの春の花が咲き誇り、入学や就職という新しい生活が始まる季節の到来にワクワクしています。

私たちは、より多くの町民の皆さまに議会活動を身近に感じられるよう、「分かりやすく、伝わる」広報をめざして、取り組んできました。

現在のメンバーでの編集はこの号で最後となりますが、新しい目線を取り入れ、いつまでも愛読していただける議会だよりにご期待ください。

今回から紙面を一新しました。ぜひ、感想などを届けていただければ幸いです。

(美馬友子)

